

卷頭言

著者	坂本 明雄
雑誌名	高知工科大学紀要
巻	3
号	1
発行年	2006-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10173/162

巻 頭 言

本学は、公設民営という当時としては新しい方式で平成9年4月に創設され、今年4月には学部の一十期生を迎えました。

開学当初から、既存の大学ができることをしていたのでは本学の存在意義はないという考えのもと、大学づくりの基本姿勢として「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」との目標を掲げてまいりました。

開学以来9年間の前半では、主として学部および大学院修士課程の充実など教育環境の整備に重点を置いてきました。後半ではこれまでの教育環境の整備に加え、特待生制度を導入した博士後期課程を中心に研究環境の整備や研究体制の強化を図り、その成果創出へ向けて教職員一丸となって取り組んでいます。

その取り組みは、産官学の総力が結集して融合あるいは統合する「場」である総合研究所の整備や、21世紀COEプログラムの採択をはじめとする大型研究プロジェクトの拠点形成などへと繋がり、さらに世界水準の研究教育拠点の形成に向けての成果が期待されています。

この高知工科大学紀要は、大学のあるべき姿を追求する本学の活動や存在意義を広く学内外に公開することを目的として編集し、このたび第3巻を発行する運びとなりました。開学十年目を迎えた今、関係各位が高知工科大学により一層の関心をもっていただき、今後の発展を見守っていただくとともに、皆様方のご指導ご鞭撻を賜ることができましたら幸いです。

工学部長／教育本部長 坂本 明雄